

報道機関 関係者の皆様へ

包括連携協定に基づき、 石狩市の未来を教員と職員が共に考える ワークショップを開催しました。

学校法人北海道科学大学(札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1)は、教職員を対象とした FD・SD 研修「まなび交流会」を 2025 年 8 月 6 日(水)に開催いたしました。

本法人では、教職員が職種や部署の枠を超えて集い、法人内での取り組みや共通課題についての情報共有と意見交換を行うことで、法人全体としての一体感の醸成および協働力の向上を目的に、「まなび交流会(全学 FD・SD 研修)」を実施しています。

今年度は、全体会と 3 つの分科会で構成され、そのうちの分科会③「地域との連携活動について」は、地域共育センターが運営を担当しました。

この分科会では、包括連携協定を締結している石狩市より、企業連携推進課長 加藤 純 様をお招きし、「石狩市からの話題提供」として、地域の現状や課題、今後の可能性についてお話をいただきました。

また、石狩市職員のみならずにもご参加いただき、教職員 88 名石狩市職員 17 名の計 105 名が 16 グループに分かれてグループワークを実施しました。ディスカッションテーマは「私が考える石狩市の未来」とし、参加者それぞれの立場や経験を活かした活発な意見交換が行われました。

終了後、石狩市職員の方々から、「大学や先生方のことを知ることができた」、「意見交換ができて楽しかった」、「石狩市のことを知ってもらえて嬉しかった」といった声が寄せられ、相互理解と地域連携の深化につながる貴重な機会となりました。

本学では、今後も「地域へとことんひらく学校法人」として、地域とともに学び合う“共育”の場づくりを積極的に推進してまいります。

